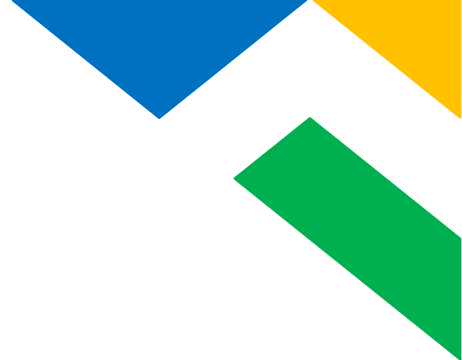




第2次葉山町スポーツ推進計画（案）

令和7年度～令和10年度

葉山町教育委員会

目次

第1章 計画の策定にあたって

計画策定の趣旨.....	3
スポーツの定義、計画の期間、計画の位置づけ.....	4

第2章 運動・スポーツに関する状況把握

葉山町の特徴.....	5
令和5年度全国体力、運動能力、運動習慣等調査.....	6
令和5年度町民の運動やスポーツに関するアンケート調査.....	7

第3章 スポーツ推進の施策

基本理念、将来像、数値目標.....	20
基本目標・基本施策.....	21

➤基本目標1 生涯スポーツ活動の機会の充実

基本施策1 運動・スポーツを始める機会提供.....	22
基本施策2 日常的に運動・スポーツをする機会提供.....	23
基本施策3 競技スポーツへの参加機会提供.....	24
基本施策4 子どものスポーツ活動の推進.....	25

➤基本目標2 生涯スポーツ活動のための環境づくりの推進

基本施策1 スポーツ・健康づくりに親しむ基盤となる環境づくり.....	26
基本施策2 地域の特性を活かした運動・スポーツの普及.....	27
基本施策3 運動・スポーツに関する情報発信.....	28

目次

➤ 基本目標 3 生涯スポーツ活動の推進体制の再構築

基本施策 1 連携・協働によるスポーツ活動の推進.....29

基本施策 2 運動・スポーツに関わる人材育成と団体への支援.....30

第4章 計画の推進にあたって

計画の推進と進行管理.....31

各主体の役割.....32

資料

第2次葉山町スポーツ推進計画の策定体制.....33

公共スポーツ施設について.....34

総合型地域スポーツクラブについて.....36

「計画策定の趣旨」

スポーツは、体を動かすという人間の本源的な欲求に応え、爽快感、達成感、他者との連帯感等の精神的充足や、楽しさ、喜びをもたらすとともに、健康の保持増進、体力の向上、活力ある健全な社会の形成など様々な役割が期待されています。

本町ではスポーツ推進のため、令和3年3月に「葉山町スポーツ推進計画」を策定し、令和7年3月までの4年間を計画期間として、基本理念である「町民のだれもが、いつでも楽しく、どこでも気軽に、いつまでも親しめる生涯スポーツ社会の実現」に基づき、総合型地域スポーツクラブの創設支援、スポーツ施設の改修、その他様々なスポーツ振興事業や関連事業に取り組んできました。前計画が令和6年度には最終年度を迎えることから、町におけるスポーツの実態やニーズを踏まえ、前計画を発展的に継承し、町のスポーツ施策の一層の推進を図るため、第2期となる本計画を策定します。

第1章 計画の策定にあたって

「スポーツの定義」

本計画では、スポーツの定義を幅広く捉え、より身近で気軽に楽しめるものとして「する」スポーツだけでなく、「みる」スポーツや「ささえる」スポーツなども、スポーツとして捉えています。ルールに基づいて自己や他者と記録や勝敗を競う競技スポーツだけでなく、ウォーキングやジョギングなどの軽い運動や、レクリエーション活動など目的をもった身体活動の全てをスポーツとして捉えます。

近年では「eスポーツ」や「マインドスポーツ」といった身体活動を伴わない競技もスポーツとして捉える動きがありますが、今後の動向を踏まえつつ、今回の計画では定義としては含めないこととします。

「計画の期間」

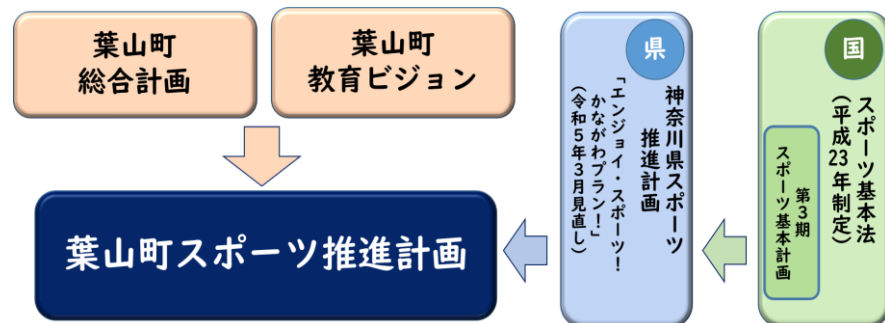
本計画の期間は、本町の総合計画及び教育ビジョンとの整合性を踏まえ、令和7（2025）年度から令和10（2028）年度までの4年間とします。

また、必要に応じて計画の見直しを行います。

西暦（年度）	2024	2025	2026	2027	2028
和暦（年度）	R6	R7	R8	R9	R10
葉山町総合計画	10年間 （第四次）	16年間（第五次） 計画期間：令和7年度～22年度（2025年度～2040年度）			
葉山町教育ビジョン （葉山町教育振興基本計画）	4年間 （第三次）	ビジョン8年間（基本計画4年間×2期） 計画期間：令和7年度～14年度（2025年度～2032年度）			
葉山町スポーツ推進計画	4年間 （第1次）	4年間（第2次）			

「計画の位置づけ」

本計画は、本町総合計画及び教育ビジョンの下位計画として、スポーツ推進に取り組む基本的方向を示す計画として位置づけ、国のスポーツ基本計画や県のスポーツ推進計画の方針を踏まえ策定するものです。



「葉山町の特徴」

葉山町は、人口が約32,000人で、東京都心から約50km、横浜市の中心部から約20kmの距離にあり、首都圏の一角に位置する面積17.04km²の町です。三浦半島西北部に位置し、北は逗子市に、南及び東は横須賀市に接し、西は相模湾に面しています。西側は市街地、東側は山林が多い丘陵地となっており、南北4kmにおよぶ海岸線は相模湾越しに富士山を望む砂浜と岩礁の美しい景観を有し、平成8年には「日本の渚百選」に選出されています。森戸、一色、長者ヶ崎・大浜の3つの海水浴場や葉山港などの港湾施設も整備されていて、海水浴や磯遊び、ヨットやウィンドサーフィンなどのマリンスポーツができる場所として、広く親しまれています。

また、町内には2つのハイキングコースが整備されており、恵まれた自然を大いに満喫できる観光の町としても期待されています。



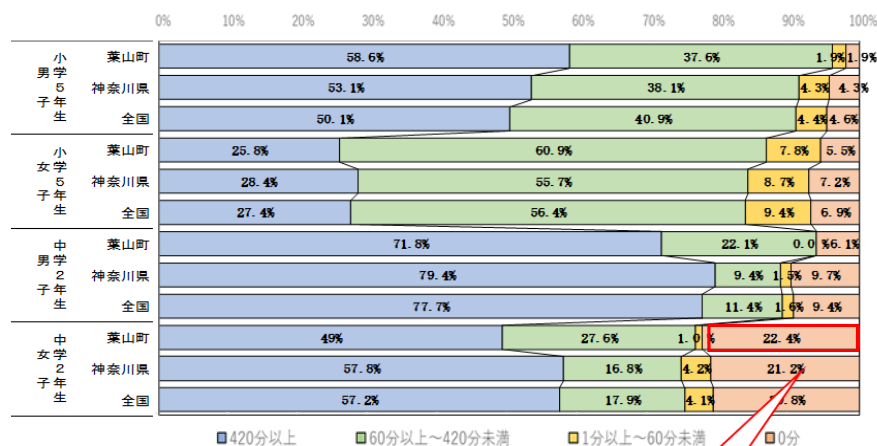
第2章 運動・スポーツに関する現状把握

子どもの1週間の総運動時間

「令和5年度全国体力、運動能力、運動習慣等調査」では、1週間の総運動時間が420分以上である児童・生徒の割合が、小学5年生男子のみ全国及び神奈川県より上回っています。同学年で比較すると女子は男子より運動時間が短い傾向となっています。

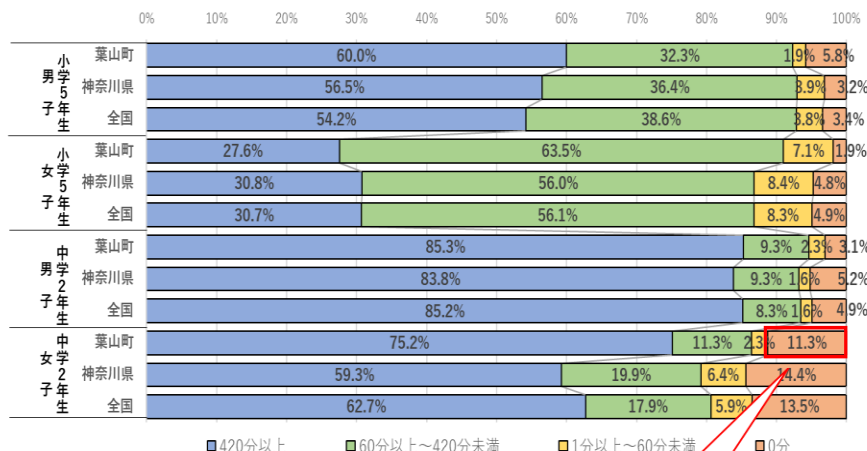
前計画策定時の平成30年度調査では、約8、8人に1人がまったく運動していませんでしたが、令和5年度の調査では約4、3人に1人となり、運動をしていない生徒の割合が増加しています。

令和5年度全国体力、運動能力、運動習慣等調査



1週間でまったく運動していない割合
22.4%
(4.3人に1人の割合)

平成30年度全国体力、運動能力、運動習慣等調査(参考)



1週間でまったく運動していない割合
11.3%
(8.8人に1人の割合)

第2章 運動・スポーツに関する現状把握

令和5年度町民の運動やスポーツに関するアンケート調査

町民のスポーツ活動を行う上での課題、健康に関する意識などを把握することで、「葉山町スポーツ推進計画」の改定に必要な基礎資料の整備を行うことを目的に実施しました。

調査対象者

町内在住で20歳以上の男女個人（令和5年4月1日時点）
4,500人

調査方法

調査票を郵送し、回答済みの調査票は返信用封筒により回収

調査期間

令和5年8月9日（水曜日）から8月25日（金曜日）

有効回収率

33.7%（有効回答者数 1,517人）

第2章 運動・スポーツに関する現状把握

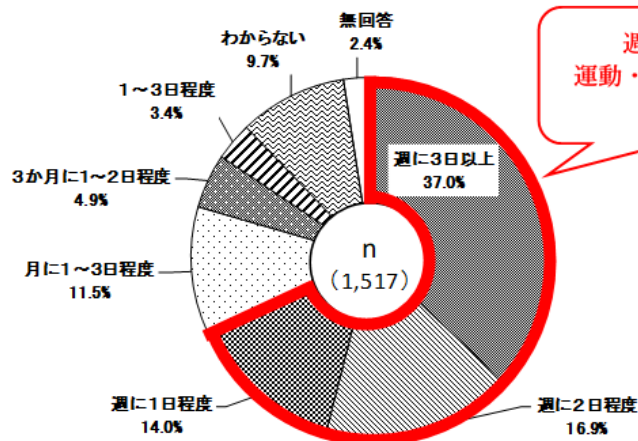
運動・スポーツの実施頻度

「令和5年度町民の運動やスポーツに関するアンケート調査」（以下、「町民アンケート調査」という。）では、週に1日以上スポーツを実施している成人の割合は、全体の67.9%となり、「令和元年度町民の運動やスポーツに関するアンケート調査」（以下、「前回町民アンケート調査」という。）から16.2ポイント増加しています。

「週に3日以上」運動している成人の割合は、前回町民アンケート調査から15.6ポイント増加しています。

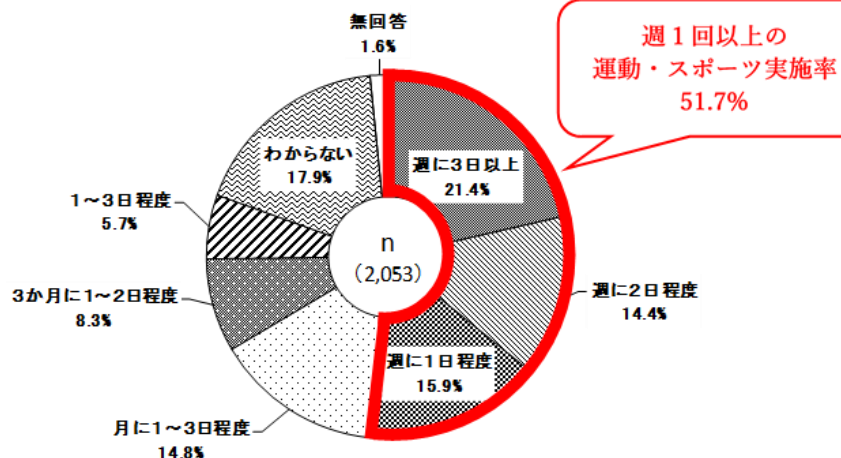
町民アンケート調査

■週1回以上の運動・スポーツの実施頻度



前回町民アンケート調査(参考)

■週1回以上の運動・スポーツの実施頻度



第2章 運動・スポーツに関する現状把握

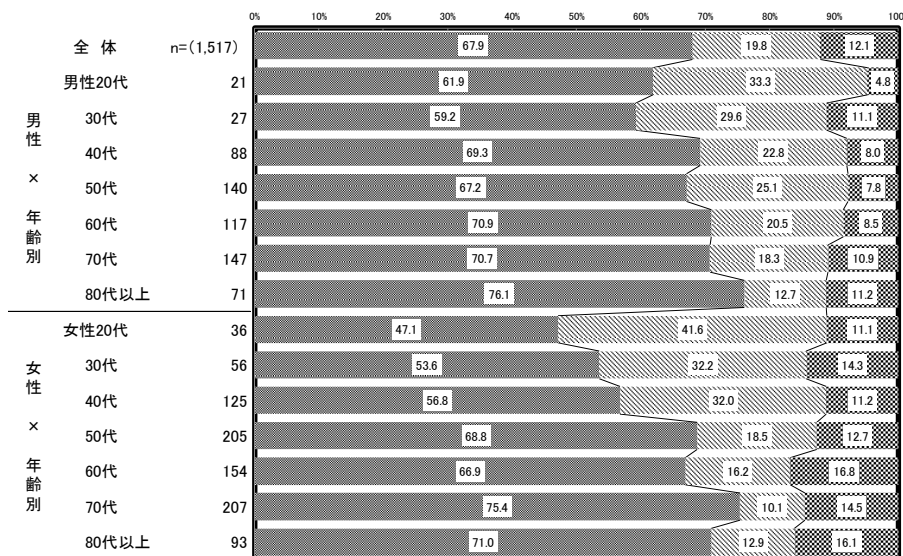
運動・スポーツの実施頻度（性別×年齢別）

町民アンケート調査では、週に1日以上スポーツを実施している成人の割合は、男性では80代以上、女性では70代以上が最も高くなっています。

男性の30代、女性の20代～40代の週に1日以上スポーツを実施している割合は、他の年代より低くなっており、前回町民アンケート調査でも低い傾向となっています。また、女性は年代が上がるにつれて実施率も上がる傾向となっています。

町民アンケート調査

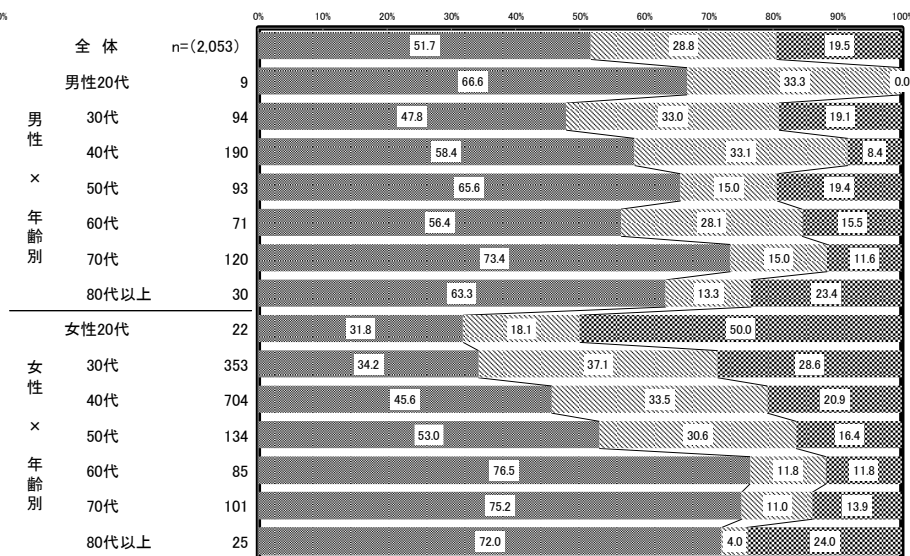
■週1回以上の運動・スポーツの実施頻度（性別×年齢別）



■週に1回以上 □週に1回未満 ○わからない・無回答

前回町民アンケート調査(参考)

■週1回以上の運動・スポーツの実施頻度（性別×年齢別）



■週に1回以上 □週に1回未満 ○わからない・無回答

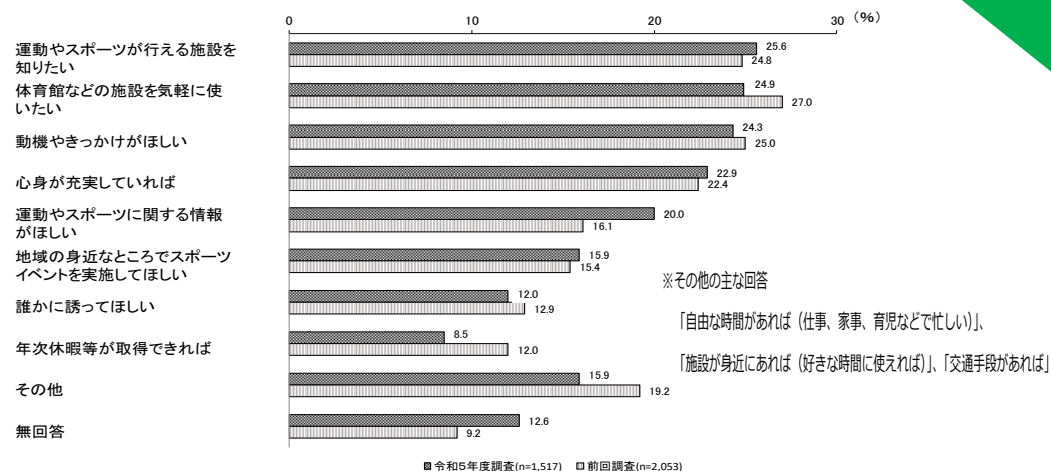
第2章 運動・スポーツに関する現状把握

運動・スポーツの活動を行うための動機

町民アンケート調査は、「運動やスポーツが行える施設を知りたい」が最も高く、次いで「体育館などの施設を気軽に使いたい」、「動機やきっかけがほしい」となっています。
前回調査から大きな変化はありません。

町民アンケート調査

■運動・スポーツ活動を行うための動機



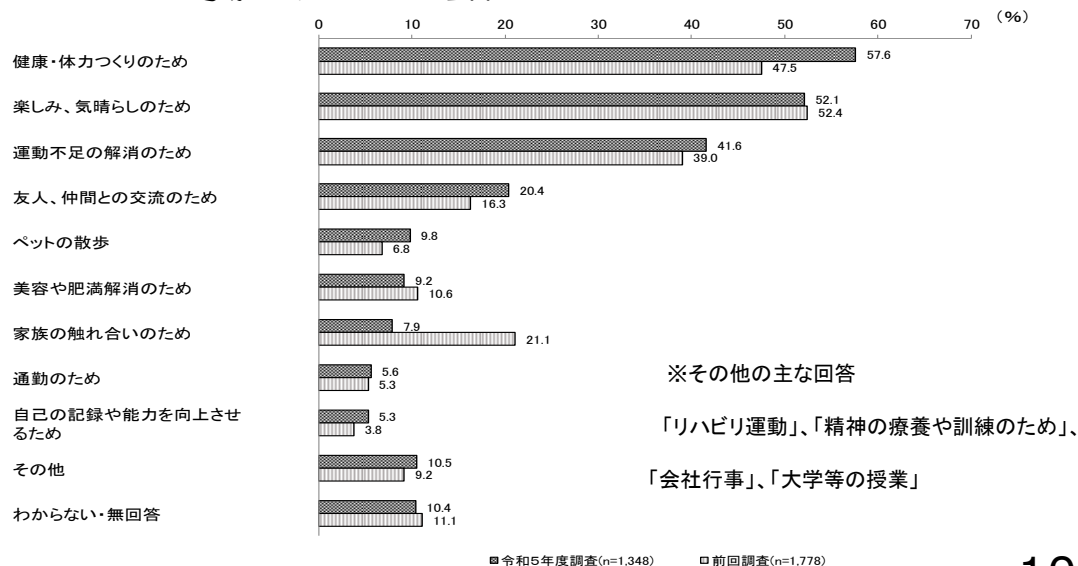
運動・スポーツをした理由

町民アンケート調査では、「健康・体力づくりのため」が最も高く、次いで「楽しみ、気晴らしのため」、「運動不足の解消のため」となっています。

前回アンケート調査では「楽しみ、気晴らしのため」が最も高い回答となっていました。が、町民アンケート調査では「健康・体力づくりのため」の回答が、前回アンケート調査より10.1ポイント増加し、最も高い回答となっています。

町民アンケート調査

■運動・スポーツをした理由



第2章 運動・スポーツに関する現状把握

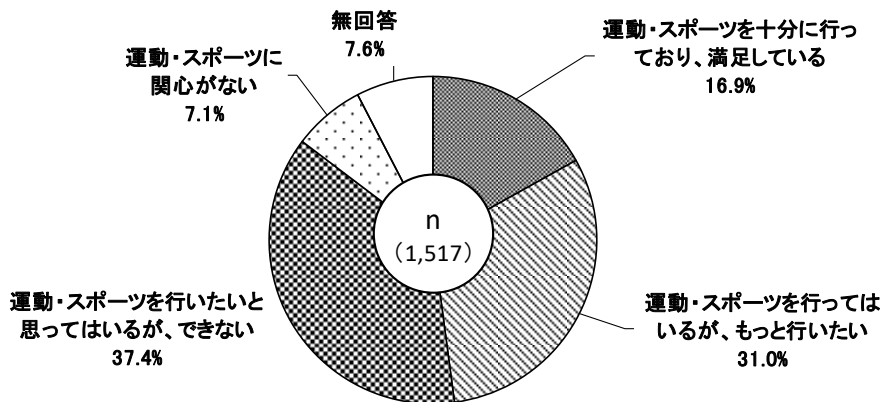
運動・スポーツ活動の満足度

町民アンケート調査では、「運動・スポーツを行いたいと思っはいるが、できない」が最も高く、次いで「運動スポーツを行ってはいあるが、もっと行いたい」、「運動・スポーツを十分に行っており、満足している」、「運動・スポーツに関心がない」となっています。

前回町民アンケート調査から「運動・スポーツを行いたいと思っはいるが、できない」が9.7ポイント減少し、「運動・スポーツを十分に行っており、満足している」が6.7ポイント増加しています。

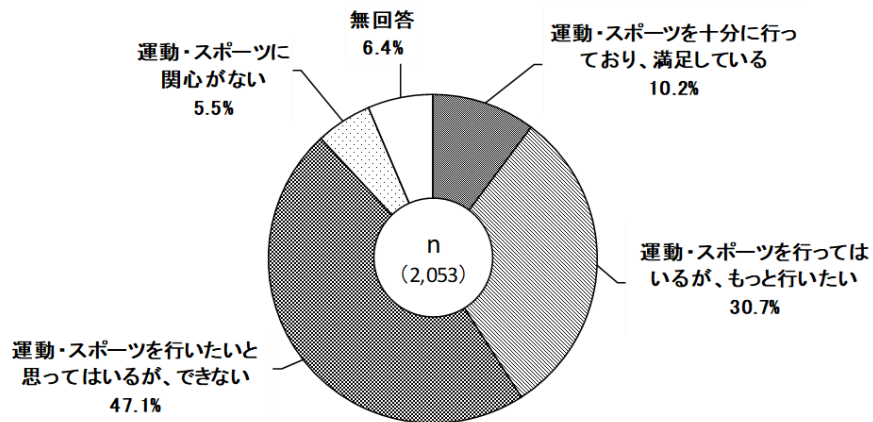
町民アンケート調査

■運動・スポーツ活動の満足度



前回町民アンケート調査(参考)

■運動・スポーツ活動の満足度



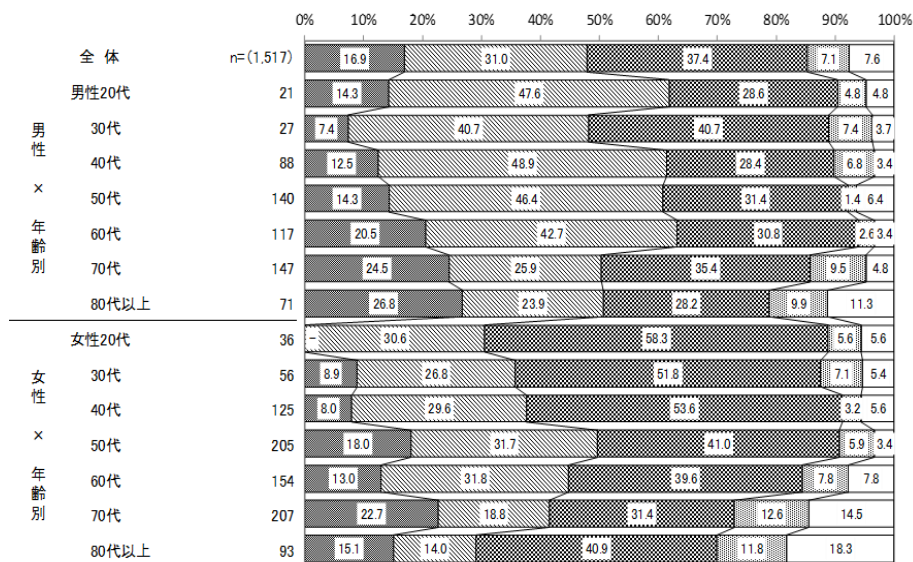
第2章 運動・スポーツに関する現状把握

運動・スポーツ活動の満足度（性別×年代）

町民アンケート調査では、「運動・スポーツを十分に行っており、満足している」と回答した割合は女性より男性の方が高い傾向となっています。一方で「運動・スポーツを行いたいと思っはいるが、できない」と回答した割合は女性の20代～40代が高くなっています。

町民アンケート調査

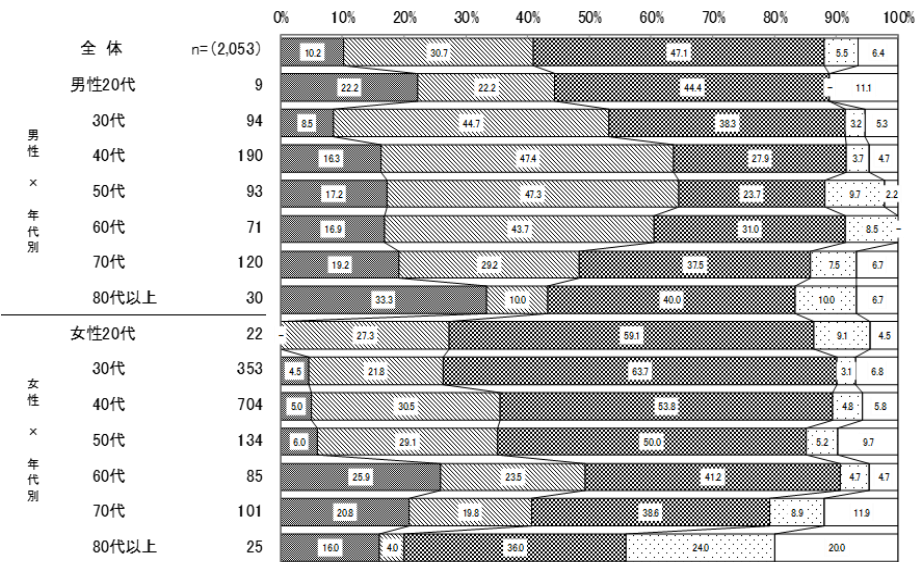
■運動・スポーツ活動の満足度（性別×年代）



- 運動・スポーツを十分に行っており、満足している
- 運動・スポーツを行ってはいいるが、もっと行いたい
- 運動・スポーツを行いたいと思っはいるが、できない
- 運動・スポーツに関心がない
- 無回答

前回町民アンケート調査（参考）

■運動・スポーツ活動の満足度（性別×年代）



- 運動・スポーツを十分に行っており、満足している
- 運動・スポーツを行ってはいいるが、もっと行いたい
- 運動・スポーツを行いたいと思っはいるが、できない
- 運動・スポーツに関心がない
- 無回答

第2章 運動・スポーツに関する現状把握

1 年間に1日30分以上行った運動・スポーツの種類

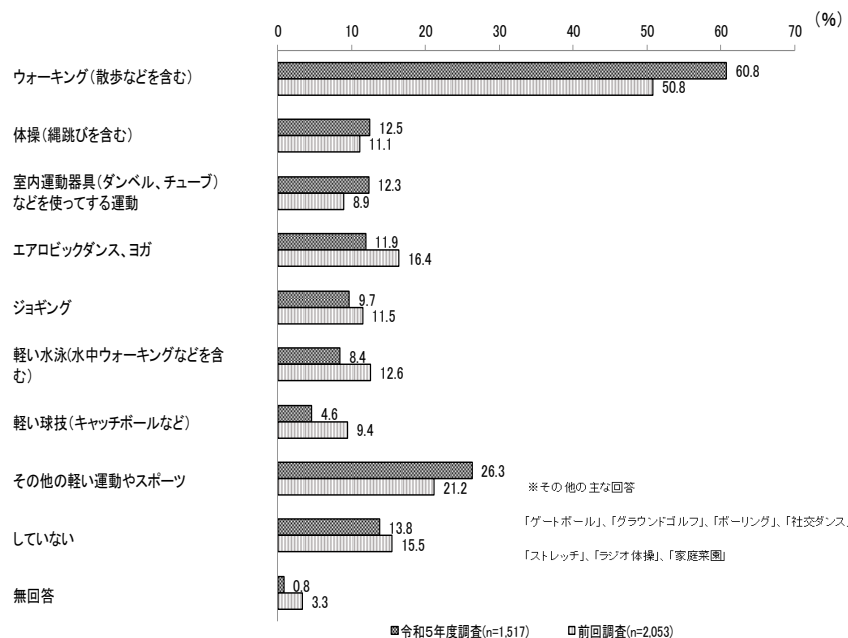
町民アンケート調査では、【軽い運動】は「ウォーキング（散歩などを含む）」が最も高く、次いで「体操（縄跳びを含む）」、「室内運動器具（ダンベル、チューブ）などを使ってする運動」となっています。【野外活動や競技スポーツ】は「登山、ハイキング」が最も高く、次いで「ゴルフ」、「テニス、卓球、バドミントン等」となっています。

前回町民アンケート調査から回答傾向に大きな変化はありませんが、【軽い運動】は「ウォーキング（散歩などを含む）」が10ポイント増加しており、【野外活動や競技スポーツ】は「していない」が6.2ポイント増加しています。

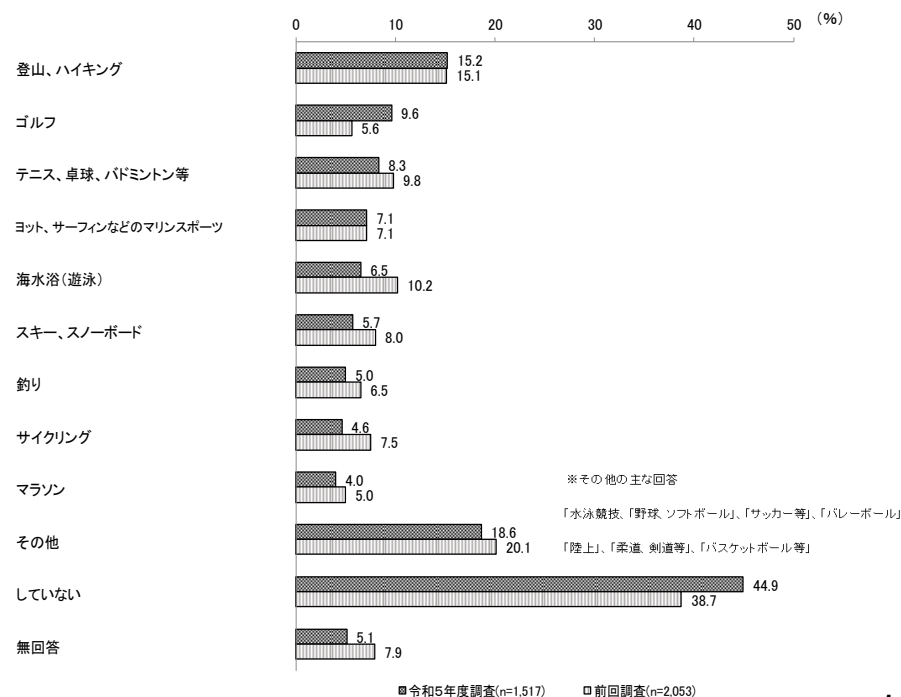
町民アンケート調査

■1年間に1日30分以上行った運動・スポーツの種類

【軽い運動】



【野外活動や競技スポーツ】



第2章 運動・スポーツに関する現状把握

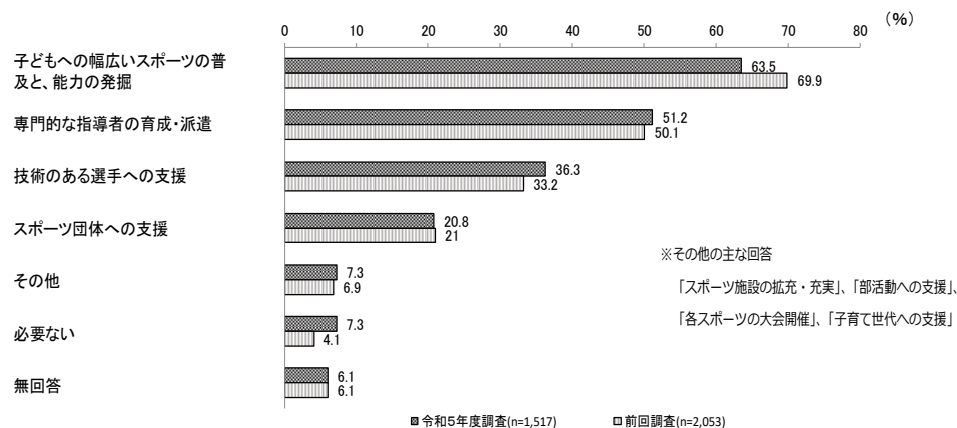
競技スポーツの推進に必要なもの

町民アンケート調査では、「子どもへの幅広いスポーツの普及と、能力の発掘」が最も高く、次いで「専門的な指導者の育成・派遣」、「技術のある選手への支援」となっています。

前回アンケート調査から回答に大きな変化はありません。

町民アンケート調査

■競技スポーツの推進に必要なもの



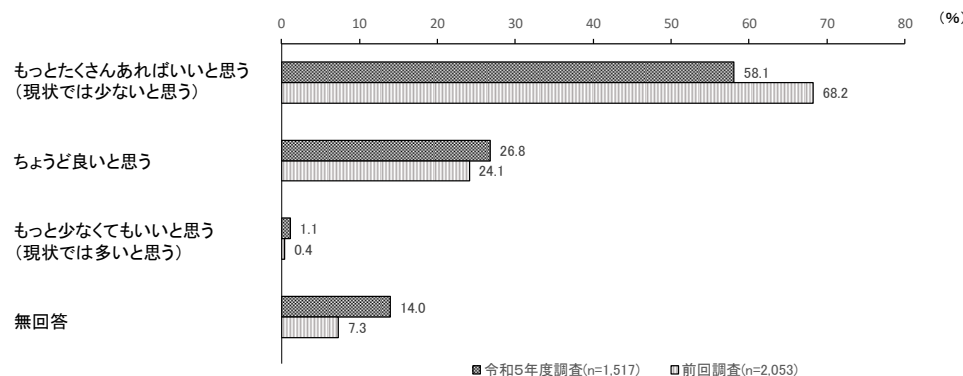
町の公共スポーツ施設の設置数

町民アンケート調査では、「もっとたくさんあればいいと思う（現状では少ないと思う）」が最も高く、次いで「ちょうど良いと思う」、「もっと少なくてもいいと思う（現状では多いと思う）」となっています。

前回アンケート調査から「もっとたくさんあればいいと思う（現状では少ないと思う）」が10.1ポイント減少となっています。

町民アンケート調査

■町の公共スポーツ施設の設置数



第2章 運動・スポーツに関する現状把握

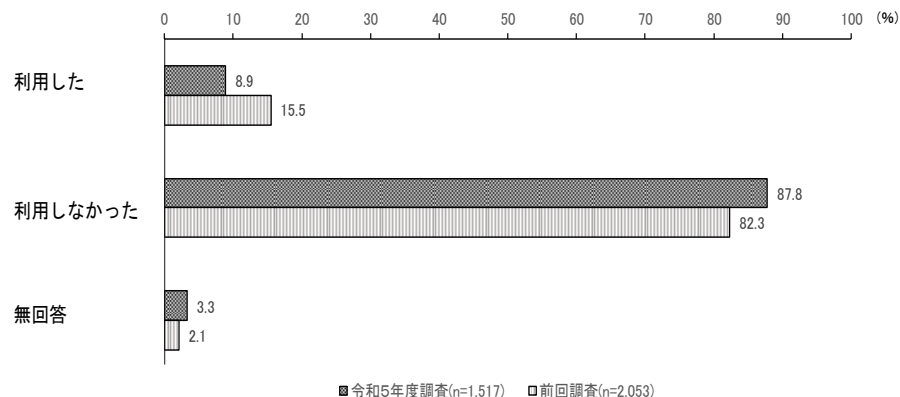
学校体育施設の利用経験

町民アンケート調査では、「利用した」が8.9%、「利用しなかった」が87.8%となっています。

前回アンケート調査から「利用した」は6.6ポイント減少、「利用しなかった」は5.5ポイント増加となっています。

町民アンケート調査

■学校体育施設の利用経験



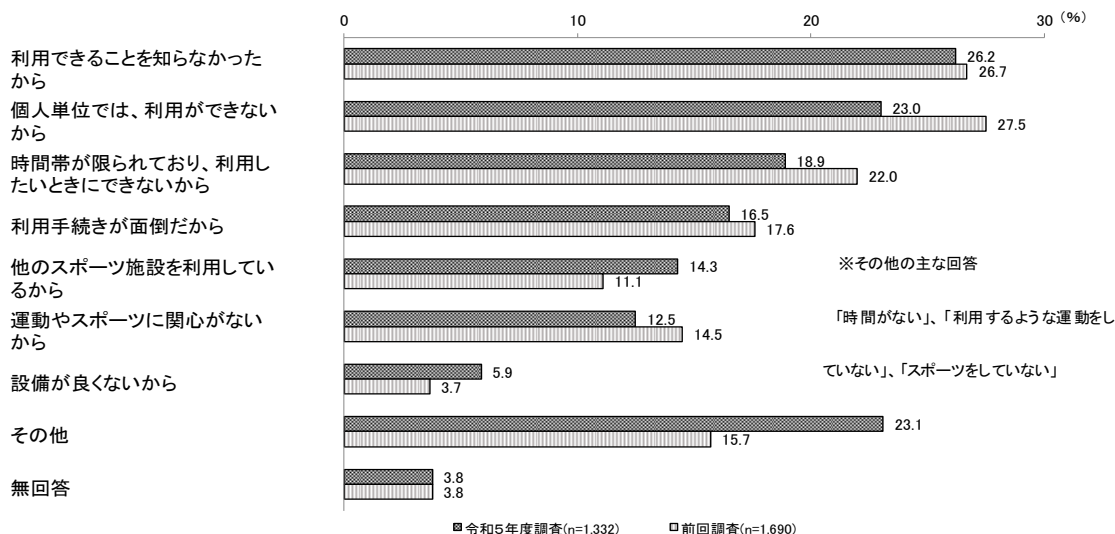
学校体育施設の利用しなかった理由

町民アンケート調査では、「利用できることを知らなかったから」が最も高く、次いで「個人単位では、利用できないから」、「時間帯が限られており、利用したいときにできないから」となっています。

前回アンケート調査から「個人単位では、利用できないから」が4.5ポイント減少し、「その他」が7.4ポイント増加しています。

町民アンケート調査

■学校体育施設の利用しなかった理由



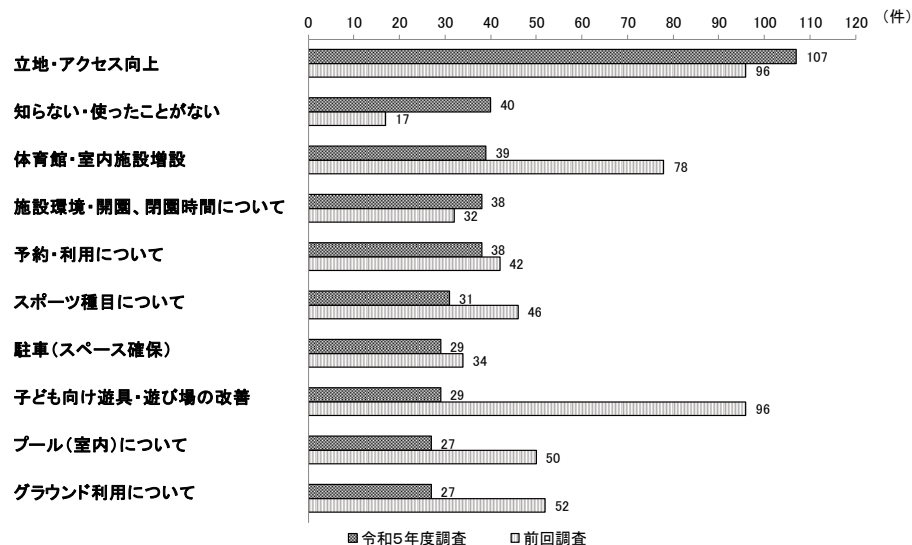
第2章 運動・スポーツに関する現状把握

南郷上ノ山公園運動施設への要望

町民アンケート調査では、場所が遠い、車がないと行けない、コミュニティバスを運行してほしいなど「立地・アクセス向上」を求める回答が多くなりました。

他にも「体育館・室内施設増設」、「施設環境・閉園時間について」、「予約・利用について」など施設の充実や利便性向上を求める回答が多くなっています。

町民アンケート調査
■南郷上ノ山公園運動施設への要望

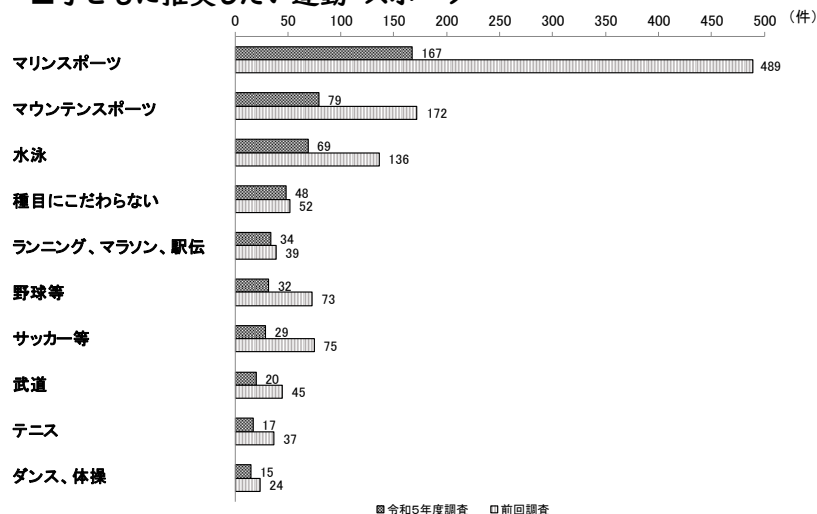


子どもに推奨したい運動・スポーツ

町民アンケート調査では、「マリンスポーツ」が最も高く、次いで「マウンテンスポーツ」、「水泳」となっています。

前回アンケート調査からの回答傾向に大きな変化はありません。

町民アンケート調査
■子どもに推奨したい運動・スポーツ



第2章 運動・スポーツに関する現状把握

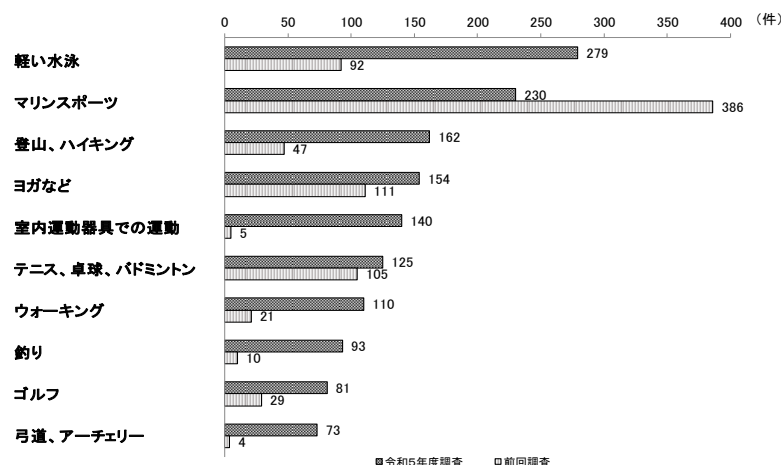
今後行ってみたいスポーツ

町民アンケート調査では、「軽い水泳」が最も高く、次いで「マリンスポーツ」、「登山、ハイキング」となっています。

前回アンケート調査から「軽い水泳」や「登山、ハイキング」などの回答割合が増加しています。

町民アンケート調査

■今後行ってみたいスポーツ



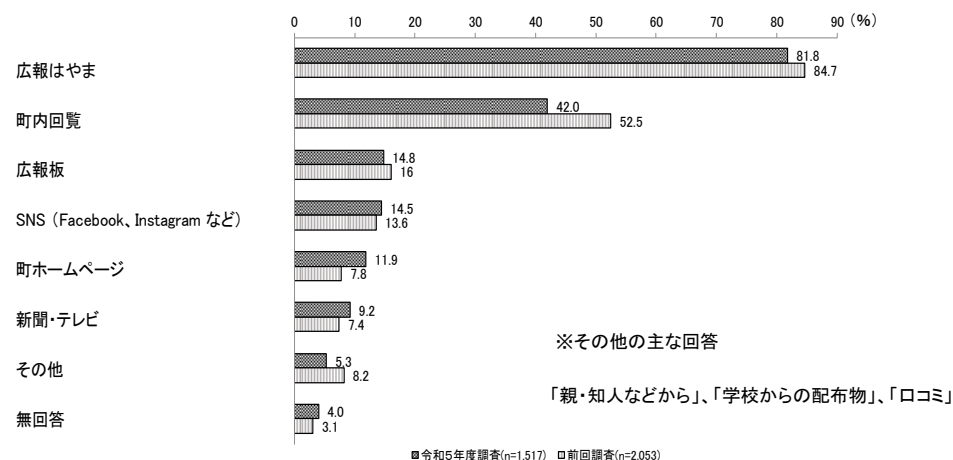
町内スポーツイベント情報の入手方法

町民アンケート調査では、「広報はやま」が最も高く、次いで「町内回覧」となっています。

前回町民アンケート調査から、「町内回覧」は10.5ポイント減少しましたが、その他の回答割合に大きな変化はありません。

町民アンケート調査

■町内スポーツイベント情報の入手方法



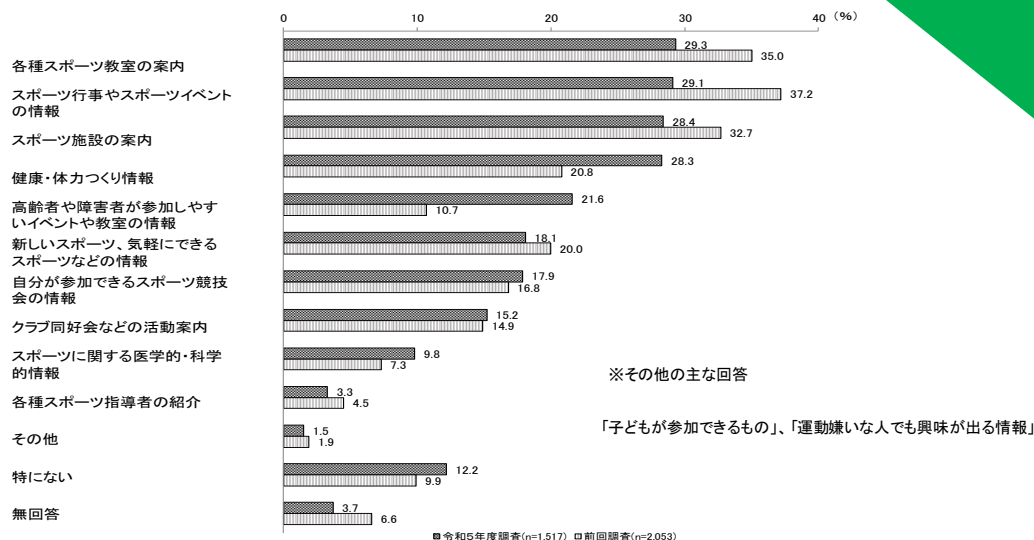
第2章 運動・スポーツに関する現状把握

希望するスポーツイベント情報の内容

町民アンケート調査では、「各種スポーツ教室の案内」が最も高く、次いで「スポーツ行事やスポーツイベントの情報」、「スポーツ施設の案内」、「健康・体力づくり情報」となっています。

前回アンケート調査より「健康・体力づくり情報」と「高齢者や障害者が参加しやすいイベントや教室の情報」の回答割合が増加しています。

町民アンケート調査 ■希望するスポーツイベント情報の内容

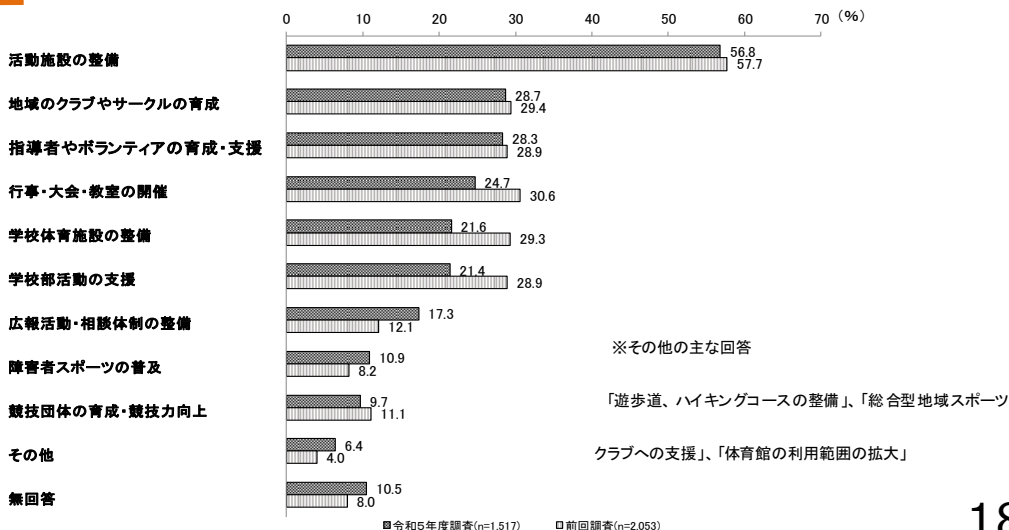


地域のスポーツ活動の振興に対する要望

町民アンケート調査では、「活動施設の整備」が最も高く、次いで「地域のクラブやサークルの育成」、「指導者やボランティアの育成・支援」となっています。

前回アンケート調査より「行事・大会・教室の開催」、「学校体育施設の整備」、「学校部活の支援」の回答割合が減少しています。

町民アンケート調査 ■地域のスポーツ活動の振興に対する要望



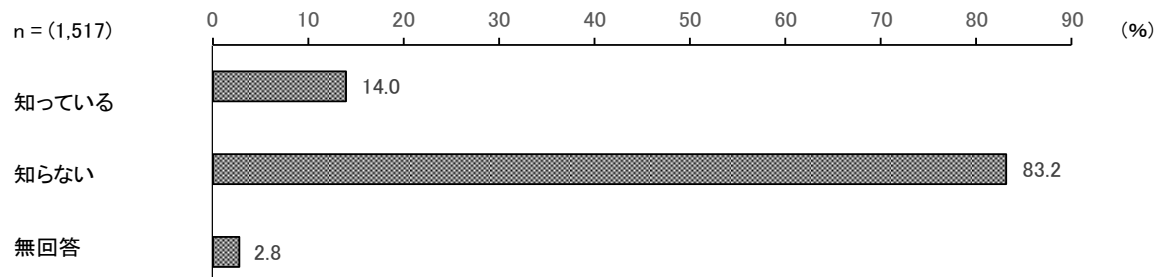
第2章 運動・スポーツに関する現状把握

葉山町総合型地域スポーツクラブ「うえるま」の認知度

町民アンケート調査では、全体の83.2%が「うえるま」を知らないと回答しています。

町民アンケート調査

■葉山町総合型地域スポーツクラブ「うえるま」の認知度



総合型地域スポーツクラブに関連する意見

町民アンケート調査

■総合型地域スポーツクラブに関連する意見

【意見】

- ☞ 大人や高齢者が気軽に参加できる教室やイベントを開催して欲しい。
- ☞ 毎月、広報誌を見ていたつもりだが、「うえるま」のことをしらなかった。もっと広報活動をしてほしい。
- ☞ 「うえるま」や役所が募集する運動イベントを、Web上から申込みができるようにした方が応募者は増えると思う。
往復ハガキでは躊躇する人が多い（特に現役世代、子育て世代では）のでオンラインが良いと思う。
- ☞ スポーツ教室というと、逗子や横須賀を考えてしまいます。葉山町でできるようになるといいですね。
- ☞ 私は紫外線アレルギーの為、特に初夏から秋までの間は、室外に出ることに気を使います。そういった人の為にできるスポーツや施設の充実、また、収入に合った教室やクラブ等があれば良いと感じます。
- ☞ 是非、町営のスポーツクラブの設立をお願いします。無料とは云いませんが、安価で利用できると、中高年の町民の健康増進に大いに役立つと考えます。

第3章 スポーツ推進の施策

「基本理念」

本町の最上位計画である「第五次葉山町総合計画」では、「自分らしく、つながるまち」の実現のため、スポーツ・運動機会の提供等によって健康と幸せの享受し続けられる『健幸』、子どもから大人、地域・社会がつながりワクワクしながら学び続けられる『楽校』を計画の柱で掲げています。

また、「葉山町教育ビジョン」では、『楽校をつくろう！』をスローガンに、施策の1つとして「もっと生活に学びを」として、スポーツ施策等を充実させ、生活と学びの融合を図ることを掲げています。

本計画では、これら上位計画に基づき、自然豊かな環境の下、町民・団体が自主的、積極的に運動・スポーツに関して様々なかたちで活動、参加し、交流を深め、学び続けられるWell-beingな町を目指して、次の基本理念を掲げます。

町民のだれもが、いつでも楽しく、どこでも気軽に、
いつまでも親しめる生涯スポーツ社会の実現

※「だれも」とは…幼児、児童、青少年、働き世代の大人、高齢者、障がい者、運動している人、運動していない人など全ての町民のことを指しています。

※「Well-being（ウェルビーイング）」とは…心身ともに満たされた状態を表す概念

「将来像」

基本理念に基づき、本計画が目指す将来の姿は、以下のとおりとします。

多様な主体が連携・協働し、町民のだれもがスポーツを生活の一部として親しんでいる

※「多様な主体」とは、行政、地域、学校、企業を指しています。

「数値目標」

計画期間における数値目標として「成人の運動・スポーツ実施率」を目標に掲げます。この目標の達成に向け、より一層施策の強化を図っていきます。

「数値目標」

成人の週1回以上の運動・スポーツ実施率	75%程度 (現状値 67.9%)
週3回以上の運動・スポーツ実施率	40%程度 (現状値 37.0%)

第3章 スポーツ推進の施策

「基本目標・基本施策」

第2章での葉山町の現状を基に、将来像の実現に向けて3つの基本目標を掲げ、基本目標を達成するため、それぞれの基本施策を次のとおり掲げます。

町民だれもが、生涯にわたって知的好奇心と心身の健康を保持増進し、豊かな生活を送れるために、興味や目的、ライフステージに応じて、運動・スポーツに親しめるよう、多様なスポーツ活動の機会を充実させます。

また、葉山町総合型地域スポーツクラブ「うえるま」の支援を行い、町民が地域で仲間たちと気軽に運動・スポーツを楽しみ、地域コミュニティ活動の活性化が図れる環境を整えます。

スポーツ施設の適切な維持管理により、町民の運動・スポーツ活動の環境を整えます。さらに、庁内の関係部局等が所管する施設との連携を図り、運動・スポーツ活動の場を充実します。

また、マリンスポーツを中心に地域の特性を活かしたスポーツの普及や、「する」「みる」「ささえる」スポーツのきっかけとなるようスポーツ情報の積極的な発信を行います。

町民が生涯にわたり健康的に運動・スポーツに親しむ環境を整備するため、多様な主体との連携・協働を進め様々な人材を活かした推進体制を構築します。

また、町内のスポーツ活動を振興するため、スポーツ関係団体等が自主的かつ継続的に活動できるよう支援します。

基本目標1

生涯スポーツ活動の機会の充実

基本施策1 運動・スポーツを始める機会提供

基本施策2 日常的に運動・スポーツをする機会提供

基本施策3 競技スポーツへの参加機会提供

基本施策4 子どものスポーツ活動の推進

基本目標2

生涯スポーツ活動のための環境づくりの推進

基本施策1 スポーツ・健康づくりに親しむ基盤となる環境づくり

基本施策2 地域の特性を活かした運動・スポーツの普及

基本施策3 運動・スポーツに関する情報の提供

基本目標3

生涯スポーツ活動の推進体制の再構築

基本施策(1) 連携・協働によるスポーツ活動の推進

基本施策(2) 運動・スポーツに関わる人材育成と団体への支援

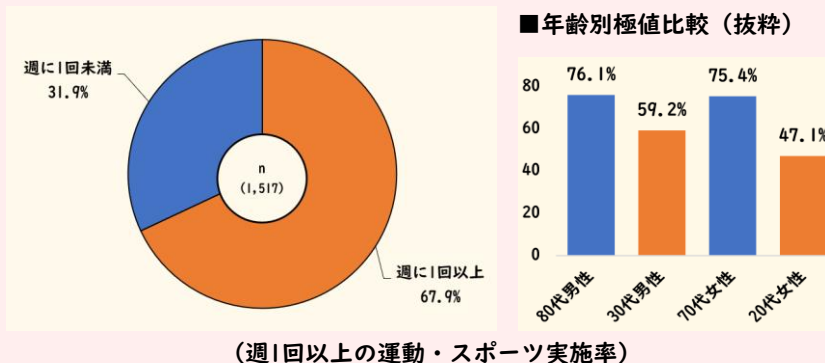


基本施策Ⅰ 運動・スポーツを始める機会提供

だれもが気軽に運動・スポーツに親しむことができるよう、多様な主体と連携・協働し、スポーツ教室やイベント等を開催します。また、生活習慣病予防や健康増進、仲間との交流等、多角的な視点で運動・スポーツと関連付けた取組を推進します。

「現状と課題」

町民アンケート調査では、本町の成人の週1回以上の運動・スポーツの実施率は前回調査から向上しているものの、約3人に1人が週1回未満と回答しています。年齢別で見ると子育て世代や働き盛り世代など、仕事や家庭、育児による時間の制約でスポーツ活動を楽しむゆとりがないことが課題となっています。



生涯にわたって知的好奇心と心身の健康を保持増進し、運動・スポーツに親しむためには、子どもの頃から家庭、学校、地域、競技団体等との連携により、日常的にスポーツ活動に取り組める環境づくりが必要です。

施策の方向性

身体を動かすきっかけづくりの推進
健康増進や仲間との交流などを目的としたスポーツ活動の推進

主な取組

スポーツ体験講座の実施

スポーツ関係団体等と協力してスポーツ体験講座を実施し、スポーツに興味関心を持つきっかけづくりを推進します。

町民体力測定の実施

自らの体力・健康状態を把握し、健康づくりや運動・スポーツを始めるためのきっかけづくりを推進します。

スポーツ出前講座

町内会・自治会や地域団体等の会合等に伺い、スポーツに関わってこなかった人にも、ボッチャなどの気軽にできるスポーツを普及することで、身体を動かすことの楽しさを伝えます。

スポーツ用具の貸出し

より多くの町民に気軽にスポーツを行う機会を提供するため、スポーツ用具の貸出を推進します。



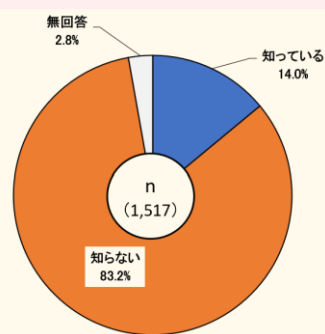
基本施策2 日常的に運動・スポーツをする機会提供

葉山町総合型地域スポーツクラブ「うえるま」で、町民だれもが気軽に運動・スポーツに取り組める場として、様々なプログラムを提供するとともに日常に取り組める運動の普及をしていきます。

「現状と課題」

運動・スポーツには、体力の向上、ストレス発散、生活習慣病予防など心身の健康の保持増進のほか、子どもの良好な発育・発達、コミュニティの形成など様々な効果が期待されています。町民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営むためには、日常的に運動・スポーツに取り組める環境を整備することが重要となっています。

国や県では、身近にスポーツができる場としての総合型地域スポーツクラブの育成に取り組んでおり、本町においても、葉山町総合型地域スポーツクラブ「うえるま」が活動しています（令和6年3月設立）。令和5年度のプレオープン期間中は22種目実施し、延べ740名が参加しました。一方で町民の8割以上が「うえるま」のことを知らないという調査結果も出ています。



今後、町は葉山町総合型地域スポーツクラブ「うえるま」と連携し、誰もが気軽に運動・スポーツを楽しめるような、より充実したプログラムを提供していきます。

他にも、町民が日常的に運動習慣を身につけることができるよう、情報ツールを活用し様々な取り組みを展開していきます。

施策の方向性

葉山町総合型地域スポーツクラブ「うえるま」への支援
日常的に身体を動かす環境づくりの推進

主な取組

葉山町総合型地域スポーツクラブ「うえるま」の支援

だれもが身近な地域で多様な種目のスポーツに親しめるように、葉山町総合型地域スポーツクラブ「うえるま」の自立に向けた支援を行います。

日常的に取り組める運動の普及啓発

日常的に運動・スポーツを行うきっかけづくりとして、ウォーキングや自宅でやる体操等の普及啓発に努めます。



（葉山健康の散歩道）



（うえるま モルック）



基本施策3 競技スポーツへの参加機会提供

スポーツの発展や競技力向上を図るとともに、「みる」観点からスポーツへの興味関心を高め、スポーツを始めるきっかけづくりとなるよう、葉山町スポーツ協会の競技団体が主催する町民大会等の開催を支援します。

また、全国大会等に出場する選手や団体の活躍を広く町民にPRすることで選手の意欲の向上を図るとともにトップアスリート等による技術指導等を開催し、競技スポーツへの興味関心を高めます。

「現状と課題」

東京2020大会ではプロスポーツ選手の活躍する姿を通して、子どもから大人までスポーツ参加への意識向上が見られたことから、「みる」ことから競技スポーツに関心を持ち、新たに競技スポーツを始めるきっかけとなるよう、「する」観点だけでなく、「みる」観点からの取組も推進する必要があります。

本町では、国際大会や全国大会で活躍しているたくさんの選手がおり、その活躍を町民に広く伝えることで、スポーツへの興味関心を高めるきっかけを提供してきました。また、プロスポーツ選手と町民の交流の機会創出として、令和4年度から「トップアスリートに学ぼう」を実施しています。

葉山町スポーツ協会の競技団体が開催する大会においては、会場の確保や周知を行い、大会運営を積極的に支援してきました。

これらの取り組みを継続し、より一層町民のスポーツへの関心と選手の向上意欲を高めていく必要があります。

施策の方向性

競技スポーツに興味関心を持つきっかけづくりの推進
競技団体が主催する大会等の支援

主な取組

トップアスリート等の活用

町民が競技スポーツに興味関心を持てるよう、トップアスリート等による技術指導や交流・講演会を開催します。

各種スポーツ大会等の会場の確保や情報提供

大会の会場確保や周知を支援します。また、「みる」観点からの競技スポーツに関する情報も提供します。

HP等による優秀選手・団体のPR

表敬訪問に訪れた選手や団体をHP等で広くPRし競技者の意欲を向上させ、町民の競技スポーツへの興味関心を高めます。



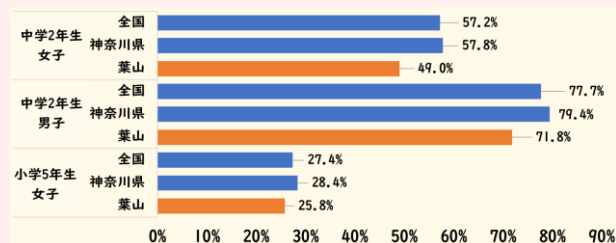
基本施策4 子どものスポーツ活動の推進

多様な主体と連携し運動・スポーツを通して、子どもたちの運動の習慣化、体力の向上、心身の成長を促します。また、休日の中学校部活動の地域移行を検討し、子どもたちが学び続けられる環境づくりを目指します。

「現状と課題」

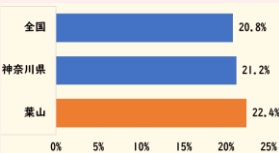
「令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」による本町の小学5年生と中学2年生（男女）の結果を見ると、1週間の総運動時間が420分以上（体育の授業を除く）である児童・生徒の割合が全国・神奈川県平均を下回っています。

（※WHOでは平均で1日60分以上の運動を推進しています。）



（週に420分以上運動している割合）

中学2年生の女子では約4.3人に1人がまったく運動していないと答えており、良好な発育・発達のため運動を習慣化するとともにすべての子どもが運動できる取組が必要です。



（中学2年生女子の全く運動をしていない割合）

また、中学校の部活動において、スポーツ庁及び文化庁で策定したガイドラインでは、休日の運動部活動について、段階的な地域連携、地域移行に取り組みつつ、地域の実情等に応じて可能な限り早期に実現を目指すこととしています。

本町の実情に応じた部活動の在り方について検討していく必要があります。

施策の方向性

生涯にわたる豊かなスポーツライフの基礎づくり
子どものニーズに合わせた体制の整備

主な取組

健診時における運動啓発

子どもの健診時に、日常生活の中で行える子供の運動について情報を提供します。

学校との連携強化

学校との連携により、環境の整備による運動・スポーツ活動の場の確保や充実に図ります。また、習慣的に運動が行えるきっかけづくりなど児童・生徒の体づくりや体力向上を促します。

スポーツに親しむ機会の提供

学年・年齢を問わず交流するスポーツ活動を実施することで、子どもたちの心身の成長を促します。

学校部活動の地域移行

子どもの多様な運動・スポーツ活動の受け皿となる団体を支援するなど、地域の実情に応じた体制を検討します。



基本施策Ⅰ スポーツ・健康づくりに親しむ基盤となる環境づくり

町民が身近な場所で運動・スポーツに親しむことができるよう、南郷上ノ山公園の利用条件等を見直し、学校体育施設（体育館・校庭等）を含めたスポーツ施設の有効な活用を図ることで、地域の運動・スポーツする場を充実させます。

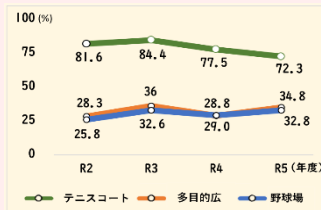
「現状と課題」

本町のスポーツ施設は、南郷上ノ山公園内に「多目的グラウンド」や「テニスコート」、「野球場」が整備され、屋外スポーツ施設の拠点として、広く町民に利用されています。

また、学校体育施設も町民の身近な運動・スポーツ活動の場として定着しており、重要な拠点ともなっています。

利用条件の見直しの一環として、令和5年度は学校体育施設、令和6年度は南郷上ノ山公園（多目的、野球場）に予約システムを導入したため施設予約の利便性が向上しました。

一方で、南郷上ノ山公園は有料施設の平日の利用率が低く、学校体育施設では利用希望団体が増加しており、各団体の活動時間の確保が課題となっています。



（南郷上ノ山公園稼働率）

今後は庁内関係部局や地域との連携を図り、町民が身近な場所で運動・スポーツに親しめるよう、活動場所の拡充について検討していく必要があります。

施策の方向性

町民の身近な運動・スポーツする場の充実

主な取組

スポーツ施設の効果的・効率的活用

南郷上ノ山公園の活用方法や学校体育施設の利用条件等を見直しなど、効果的・効率的な活用を検討します。

スポーツ施設の管理体制の検討

快適なスポーツ環境づくりを実現するため、効果的な管理体制を構築します。また、今後、再整備予定の学校施設において、スポーツ活動の活性化につながる施設となるよう検討を進めます。

公共施設の活用

関係部局等が所管する施設との連携を図り、町民の運動・スポーツの場の拡充を検討します。



（南郷上ノ山公園テニスコート・多目的グラウンド）



基本施策2 地域の特性を活かした運動・スポーツの普及

海や山など自然豊かな環境を活かし、マリンスポーツやハイキング、ウォーキングなど町民が運動・スポーツに親しめる取組を推進します。

「現状と課題」

令和3年度より地域の特性を活かしたマリンスポーツ事業を実施し、いずれも参加者から好評でした。近年の気候変化による猛暑を踏まえ、参加者と講師の安全に配慮する必要があります。今後、安全を確保し、安心して楽しんでもいただけるよう、開催時期等の検討や新たなマリンスポーツメニューの検討を進める必要があります。

また、「自身が今後やってみたいスポーツ」では、「登山、ハイキング」や「ウォーキング」の人気も高くなっています。町内には町が推奨する散歩コース「健康の散歩道（葉山ウォーキングマップ）」のほか、「仙元山ハイキングコース」、「三ヶ岡山ハイキングコース」、南郷上ノ山公園内に「果実と野鳥の森」と呼ばれる遊歩道も整備されており、だれもが気軽に散歩やハイキングに親しむ環境が整っています。

競技・種目・件数	
軽い水泳	279
マリンスポーツ	230
登山、ハイキング	162
エアロビックダンス、ヨガ	154
室内運動器具などを使ってする運動	140
テニス、卓球、バドミントン	125
ウォーキング・散歩	110
釣り	93
ゴルフ	81
弓道、アーチェリー	73

（今後行ってみたい競技・種目）

これらの自然豊かな環境を活かした運動・スポーツの取組を推進していく必要があります。

施策の方向性

町の特性を活かしたマリンスポーツの普及
自然豊かな環境で気軽に行える運動の推進

主な取組

マリンスポーツの普及

地域の特性を活かし、町民のだれもが
気軽にマリンスポーツに触れ合う機会
を提供します。

「登山、ハイキング」、
「ウォーキング」の普及啓発

「葉山健康の散歩道」（ウォーキング
マップ）等を活用し、町の魅力である
海や山を活かした砂浜歩きや山歩きな
どの運動を推進します。



（ウィンドサーフィン体験講座）



（仙元山ハイキングコース）



基本施策3 運動・スポーツに関する情報発信

運動・スポーツに親しむ機会となる情報について、町民のライフステージに応じて、適切な方法で提供していきます。また、庁内関係部局や地域等と連携し、スポーツに関わってこなかった人に対しても、運動・スポーツの魅力を伝えていきます。

「現状と課題」

本町では、スポーツに関する情報を「広報はやま」「ホームページ」「SNS」など、様々な情報ツールを活用し、提供しています。特に「広報はやま」は多くの町民に親しまれた身近な情報発信ツールとなっています。

アンケート結果ではイベント情報、施設の案内の他、健康や体力づくりに関する情報が求められていることから、町民のニーズに応じた情報発信を行っていく必要があります。

内容・数値	
各種スポーツ教室の案内	29.3%
スポーツ行事やスポーツイベントの情報	29.1%
スポーツ施設の案内	28.4%
健康・体力づくり情報	28.3%
高齢者や障害者が参加しやすいイベントや教室の情報	21.6%

(今後希望するスポーツ情報 上位5つ)

「ホームページ」「SNS」においても情報発信の効果が得られるよう、情報ツールの認知度向上に向けた取り組みが必要となります。



(広報はやま)



(生涯学習課公式Instagram)



↑生涯学習課公式
Instagramへの
アクセスは
こちらから

施策の方向性

町民のニーズを踏まえた効果的な情報発信
運動・スポーツに関わってこなかった町民に対する情報発信

主な取組

情報発信手段の充実

地域のスポーツ情報が町民に分かりやすく簡単に入手できるよう、現在、活用しているSNSなど社会潮流に合わせた情報発信ツールを積極的に活用し、スポーツ情報の周知を行います。

情報発信内容の充実

イベント情報に加え、健康や体力づくり等、町民に興味関心を持ってもらえるような情報発信を行います。

スポーツにおける安全確保の情報発信

安心・安全に運動・スポーツを行うために、自己の健康管理や感染症・熱中症などの注意喚起を、様々な情報ツールで発信します。



基本施策Ⅰ 連携・協働によるスポーツ活動の推進

町民のライフステージに応じた生涯スポーツ活動の推進のため、多様な主体と連携を強化し、横断的な推進体制の構築を目指します。

「現状と課題」

本町のスポーツ振興事業では、スポーツ推進委員、スポーツ関係団体、民間事業者等との連携により実施しています。

年齢や体力など多様なニーズに合った運動・スポーツに親しむことの出来る環境を推進するため、今後さらに、保健・福祉部局、学校、町内会（自治会）、その他各種団体や企業（民間事業者）等との情報共有やイベントを共創する等、連携を深める必要があります。

事業名	内容
SUP & ビーチテニス	・ SUP ・ ビーチテニス ・ ウォーターセーフティ
HAYAMA海の学校波乗り体験	・ サーフィン、ボディボード ・ SUP ・ ウインドサーフィン ・ ウォーターセーフティ ・ サバニ
ウインドサーフィン体験	・ ウインドサーフィン ・ ウォーターセーフティ
HAYAMA海の学校ヨット体験	・ ヨット体験 ・ 救急救命講習 ・ ロープワーク等
町民体力測定	各種体力測定
葉山町民駅伝	駅伝大会
草津町民スキー教室	・ スキー、スノーボード ・ スノーシュー

（令和5年度町と団体が連携したスポーツ事業）

施策の方向性

横断的な生涯スポーツ推進体制の構築

主な取組

保健・福祉部局等との連携強化

保健・福祉部局等との連携・協働により、町民それぞれのライフステージや健康状態に応じた運動・スポーツの習慣化を図ります。

学校部活動の地域移行（再掲）

子どもの多様な運動・スポーツ活動の受け皿となる団体を支援するなど、地域の実情に応じた体制を検討します。

団体との連携強化

運動・スポーツに関して様々な形で参加できるまちを目指して、スポーツ関係団体をはじめ文化団体や町内会等との情報共有、連携・協働の強化を図ります。



（HAYAMA海の学校波乗り体験）



（葉山町民駅伝）



基本施策2 運動・スポーツに関わる人材育成と団体等への支援

スポーツは、「する」「みる」「ささえる」ことにより、すべての人が参画することができ、スポーツの楽しさや喜びを共有することができます。町内の運動・スポーツを支える人材の確保・育成をするとともに、スポーツ関係団体等が地域に根差した運動・スポーツ活動を継続して実施できるよう支援します。

「現状と課題」

本町では、地域におけるスポーツの推進者として、21名（令和6年5月現在）のスポーツ推進委員が活動しています。スポーツ推進委員は、スポーツの実技指導やスポーツイベントの協力、そして、スポーツコーディネーターとしても期待されています。これまでの実績を基に、更なる活躍が期待されます。

本町のスポーツ団体としては、葉山町スポーツ協会があり、現在18の競技団体（令和6年4月現在）が加盟し、定期的に活動しています。葉山町スポーツ協会は、スポーツ体験会等の実施、加盟団体への支援、葉山町総合型地域スポーツクラブ

「うえるま」の運営、スポーツ指導者の育成等を行っています。

本町のスポーツ振興を支えるスポーツ協会の活性化は、町内スポーツ振興への更なる貢献が期待されます。

今後、運動・スポーツを継続して実施していくためには、指導者の数を増やすとともに、スポーツ活動をささえる人材を確保していく必要があります。

また、近年、問題となっているスポーツにおける身体的、精神的暴力行為やあらゆるハラスメント防止など、一人ひとりの資質を向上させる取組の充実化を図っていきます。

施策の方向性

スポーツ推進委員の育成
地域スポーツ関係団体への支援
「ささえる」人材の確保

主な取組

スポーツ推進委員の人材
確保と研修会等の充実

町のスポーツ活動を促進するため、スポーツ指導者やコーディネーターとして活躍できる人材を確保するとともに、研修会等の充実を図り、スポーツ推進委員の育成を行います。

葉山町スポーツ協会等への
支援

本町のスポーツ振興を支える葉山町スポーツ協会等を支援することで、スポーツ事業の充実のほか、競技力向上や指導者の育成を図ります。

葉山町総合型地域スポーツ
クラブ「うえるま」の支援
（再掲）

だれもが身近な地域で多様な種目のスポーツに親しめるように、葉山町総合型地域スポーツクラブ「うえるま」の自立に向けた支援を行います。

スポーツ活動への協力者の
確保

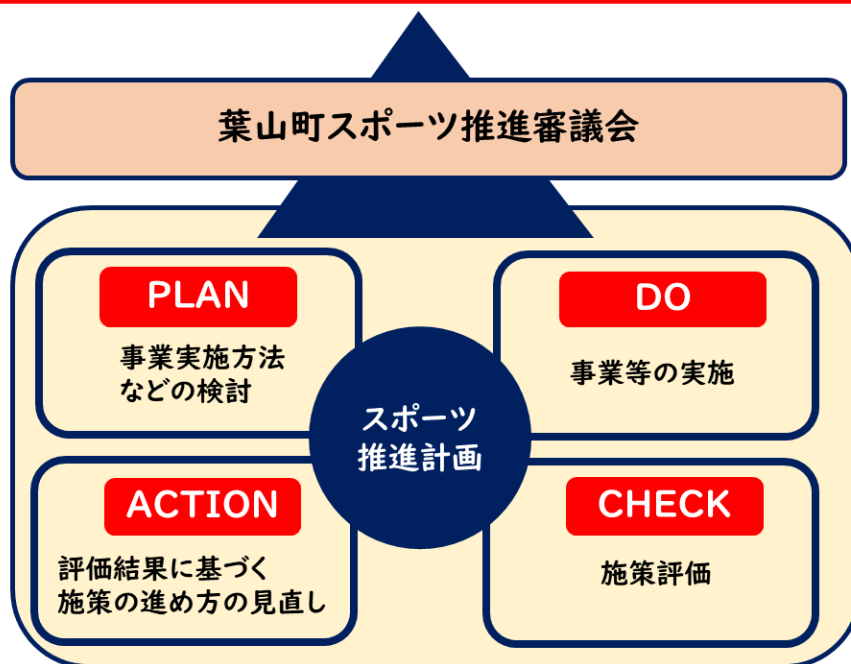
町の継続的なスポーツ活動を「ささえる」人材の確保を図ります。

「計画の推進と進行管理」

計画の推進にあたっては、PDCAサイクルにより適切に行っていきます。また、庁内関係部局やスポーツ関係団体等との連携・協働のもと、スポーツ推進計画を着実に推進するため、「葉山町スポーツ推進審議会」において、計画に対する評価を適切に行います。

基本理念

町民のだれもが、いつでも楽しく、どこでも気軽に、
いつまでも親しめる生涯スポーツ社会の実現



第4章 計画の推進にあたって

「各主体の役割」

町民が生涯にわたり、気軽にスポーツに親しみ、明るくスポーツライフを過ごすため、各主体がそれぞれの役割を果たしていくことが求められています。

学校・幼稚園・保育園

子どもの体力・運動能力の向上を図るとともに、生涯を通じて運動・スポーツに親しむきっかけを作り出す役割が求められています。

葉山町教育委員会

計画の推進主体の中核として、本計画の目指すべき将来像の実現に向け、町民のスポーツ活動の支援やスポーツ環境づくりを行っています。

スポーツ推進委員

町のスポーツ振興の推進者として、町、学校、地域団体等が実施する事業への協力や、スポーツの普及、実技指導、調整役・コーディネーターとしての役割が求められています。

葉山町総合型地域スポーツクラブ「うえるま」

多世代で多様な種目のスポーツを楽しめる活動機会の提供が求められます。また、学校や地域との連携において中心的な役割になることが求められています。

葉山町スポーツ協会

スポーツに関する情報提供や自主事業・イベントの実施など、町民のニーズに合ったスポーツ事業を展開していくことが求められています。

町内会・自治会

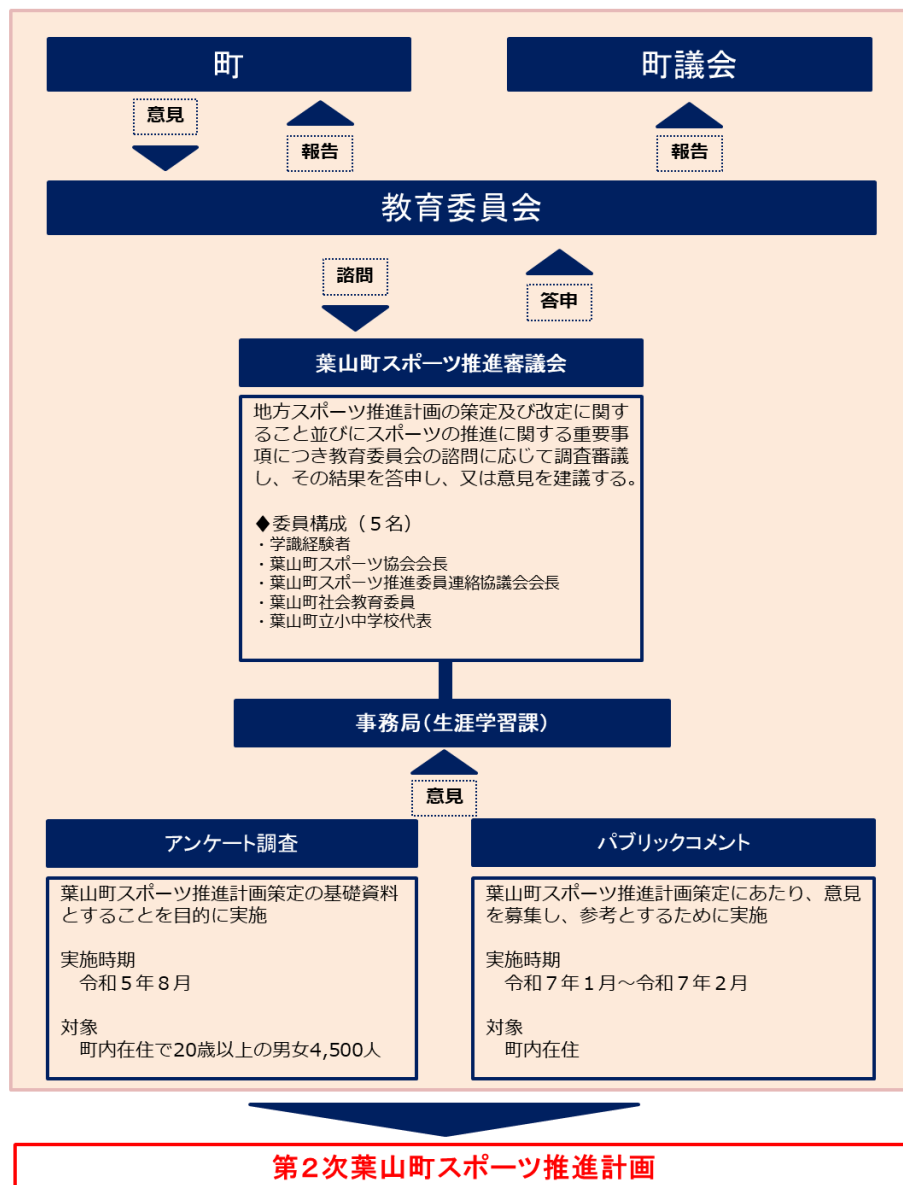
町内各地の特徴を踏まえ、地域の住民が気軽に参加できるイベント等の開催が求められています。

民間事業者・各種団体

専門的なノウハウを活かし、行政との連携で事業の担い手としての役割も求められています。

資料編 第2次葉山町スポーツ推進計画策定体制

1 第2次葉山町スポーツ推進計画の策定体制



2 葉山町スポーツ推進審議会委員名簿

	区分	氏名	所属
1	学識経験者	鈴木 志保子	神奈川県立保健福祉大学教授
2	スポーツ団体	林 俊司	葉山町スポーツ協会会長
3		高館 俊夫	葉山町スポーツ推進委員連絡協議会(元)会長
4	関係行政機関	山口 明	葉山町社会教育委員
5		安達 禎崇	葉山町立小中学校代表 (葉山町立葉山小学校校長)

3 第2次葉山町スポーツ推進計画策定経過

時期	内容
令和5年 6月27日(月)	第1回葉山町スポーツ推進審議会 【議事】 (1) 葉山町スポーツ推進計画の改定について(諮問) (2) アンケート調査について
令和5年 8月9日(水)	町民の運動やスポーツに関するアンケート調査 実施 令和5年8月9日(水)～8月25日(金)
令和5年 12月19日(火)	第2回葉山町スポーツ推進審議会 【議事】 (1) アンケート調査結果について (2) 葉山町スポーツ推進計画の改定について
令和6年 3月25日(月)	第3回葉山町スポーツ推進審議会 【議事】 (1) 葉山町スポーツ推進計画の進捗について (2) 葉山町スポーツ推進計画の改定について
令和6年 6月14日(金)	第1回葉山町スポーツ推進審議会 【議事】 (1) 第2次葉山町スポーツ推進計画(案)の策定について(諮問) (2) 令和6年度スポーツ事業計画について
令和6年 10月8日(火)	第2回葉山町スポーツ推進審議会 【議事】 (1) 第2次葉山町スポーツ推進計画(案)の検討について (2) 令和6年度推進計画の進捗状況(アンケート調査)について
令和6年 11月6日(水)	第3回葉山町スポーツ推進審議会 【議事】 (1) 第2次葉山町スポーツ推進計画(案)の検討について
令和7年 1月～2月	パブリックコメント 実施 【仮予定】令和7年1月16日(木)～2月14日(金)

「公共スポーツ施設」

本町の公共スポーツ施設としては、南郷上ノ山公園内に多目的グラウンドや野球場、テニスコートが整備されています。また、町立小中学校の校庭や体育館等を学校教育の支障のない範囲において開放しており、地域のスポーツ団体等が定期的に利用するなど町民の身近なスポーツ活動の場として定着しています。

葉山町の公共スポーツ施設（学校体育施設を含む）



【南郷上ノ山公園】

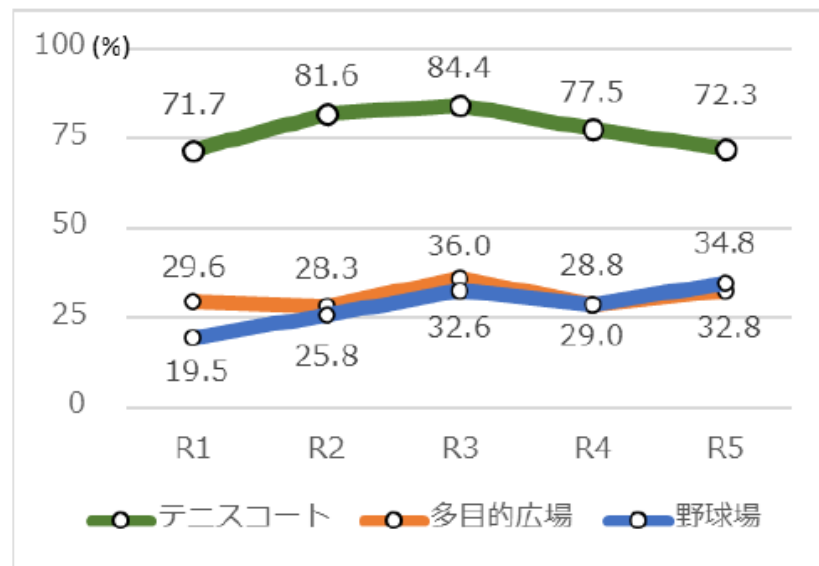
- ◆多目的グラウンド
- ◆野球場
- ◆テニスコート

【学校体育施設】

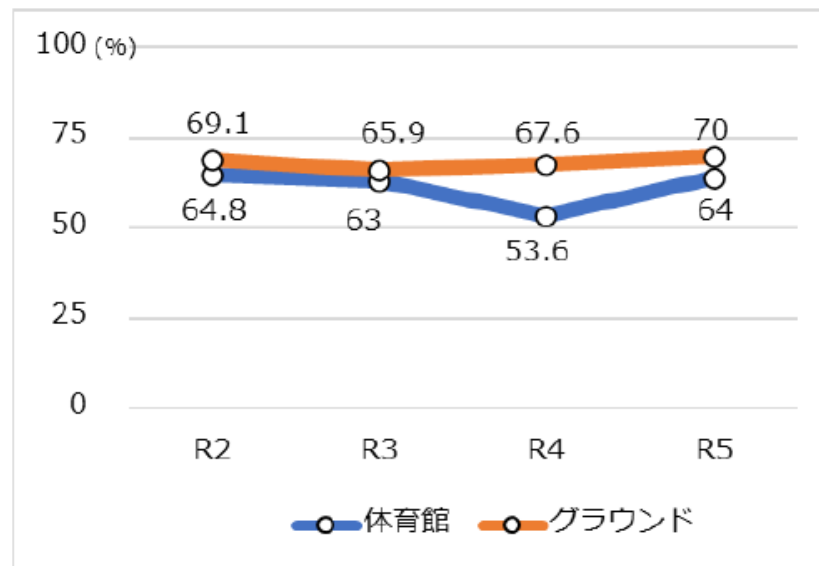
- ◆体育館（中学校は格技室含む）
- ◆校庭

「公共スポーツ施設の稼働率」

南郷上ノ山公園有料運動施設の稼働率推移



学校体育施設の稼働率推移



「総合型地域スポーツクラブ」

人々が、身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブで、子供から高齢者まで（多世代）、様々なスポーツを愛好する人々が（多種目）、初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）、という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブのことです。

（スポーツ庁HPより抜粋）

「葉山町総合型地域スポーツクラブ「うえるま」」

葉山町総合型地域スポーツクラブ「うえるま」は、葉山町スポーツ協会を母体とする令和6年3月に設立した総合型地域スポーツクラブです。クラブ名称の「うえるま」とは、『ウェルネス』・『ウェルビーイング』と、『はやま』からの造語です。